

第7回 Science Lectureship Award 国際学術講演賞 報告

平成24年10月19日（金）、けやき会館大ホールで第7回 Science Lectureship Award 国際学術講演賞（SLA）が理学部地球科学科の企画、理学部後援会支援で開催されました。

今年のSLA受賞者はイェール大学の唐戸俊一郎教授で、地球・惑星深部構成鉱物の高温高圧下における物性を理論と実験の両面から研究され、それらの成果を地球・惑星の進化やダイナミックな挙動へ応用する研究もされている世界的に著名な研究者です。40歳の時に東京大学からミネソタ大学へと転出され、その後イェール大学に移られました。以来、現在に至るまでアメリカでの教育・研究を続けておられます。1999年には49歳の若さで日本学士院賞を受賞されました。

唐戸先生には、「Water in Earth and the Moon」というタイトルで約1時間の講演をしていただきました。地球のマントル内には海洋より多くの水が鉱物中にOH基として蓄えられていること、マントル内で発生するマグマによって海洋水量がほぼ一定に保たれていると考えられること、月の内部にも地球のマントルと同程度の量の水が蓄えられていると考えられることについて、鉱物の高温高圧実験や地球内部の電気伝導度観測データなどに基づいて講演されました。世界をリードする日本人研究者の世界最先端の研究内容に関する講演を英語で聞くことのできる貴重な機会となり、大変意義深いものとなりました。

引き続き行われた表彰式では、評議員の井上教授より賞状とメダルが贈られ、地球科学科の学生さんから花束の贈呈がありました。

その後、レセプションホールで行われた懇親会では、多くの学生達が研究内容だけでなく、留学のことや海外での活動のことなどもじっくりお話を聞くことができ、教授も学生達との交流をととても楽しんでいらっしゃいました。



けやき会館にて



唐戸教授の経歴を紹介する
本学の服部教授



講演中の 唐戸教授



本学井上評議員から賞状とメダルを贈呈



学生さんからの花束贈呈



唐戸教授を囲んで



ご挨拶される唐戸教授



今回統括された本学金川教授



ポスター作りや準備、司会、進行などきめ細かく企画、運営されていた、SLA実行委員の地球科学科の学生達